

医療の安全に関する研究会 第17回研究大会

安全安心のための在宅医療と介護の連携 —情報共有のあり方を考える—

日 時：2012年12月15日（土）10:00～17:10

会 場：愛知淑徳大学 星が丘キャンパス 1号館3階 13B教室

参加費：2,000円（11月30日までに振り込みされた場合は、1,800円となります）

なお、学生は1,000円（ただし事前割引はありません）

どなたでも参加できます。郵便振替（口座番号：00870-7-104540 名義：医療の安全に関する研究会）にて参加費をお振り込み下さい。

「参加証」をお送りします。当日参加も可能ですが、できるだけ事前申し込みをお願いします。なお、払込票の通信欄に参加人数、懇親会参加ご希望の有無をお書き添えください。

プログラム

- | | |
|-------|--|
| 9:30 | 受付
総合司会 齋藤 悦子（中京学院大学看護学部 教授） |
| 10:00 | 開会の挨拶 理事長 島田康弘（日本聴能言語福祉学院 学科長、名古屋大学 名誉教授） |
| 10:05 | 大会長講演「安全安心のための在宅医療と介護の連携 —情報共有のあり方を考える—」
加藤 憲（愛知県医師会総合政策研究機構 主任研究員） |
| | 司会 北野 達也（星城大学大学院健康支援学研究所 医療安全管理学講座 教授） |
| 10:30 | 特別企画「在宅医療・介護における専門職種の役割：連携のプレイヤーを知ろう」
座長 天野 寛（愛知県医師会総合政策研究機構 主任研究員、元愛知新城大谷大学 教授）
愛知県医師会 地域医療再生に関する多職種連携協議会 |
| 12:00 | 「医療の安全に関する川柳」講評と表彰
大木 俊秀（NHK 学園 川柳講座編集主幹） |
| 12:20 | 昼食休憩 |
| 13:20 | 学生ポスターセッション
座長 小林 三太郎（愛知淑徳大学 准教授） 酒井 俊彰（愛知医科大学事務局 医事管理部） |
| 14:00 | 教育講演「安全安心のための診療記録のあり方と活用」
山内 一信（医療法人康誠会 東員病院 認知症疾患治療センター 院長、名古屋大学 名誉教授）
司会 酒井 順哉（名城大学大学院都市情報学研究科 保健医療情報学 主任教授） |
| 14:30 | 基調講演「連携におけるファシリテーションの意義—父を介護した経験から思うこと—」
鈴木 まり子（日本ファシリテーション協会 フェロー）
司会 加藤 憲（愛知県医師会総合政策研究機構 主任研究員） |
| 15:30 | 休憩 |
| 15:45 | 指定発言・総合討論
座長 松葉 和久（愛知さわみ看護短期大学 客員教授） 増田 聖子（増田・横山法律事務所 弁護士）
「医学教育の立場から」堤 寛（藤田保健衛生大学医学部 第一病理学 教授）
「法律の立場から」加藤 良夫（南山大学法科大学院 教授、弁護士）
「まちづくりの立場から」宮治 眞（愛知県医師会総合政策研究機構 プロジェクト室長） |
| 17:00 | 次期大会長挨拶 酒井 順哉（名城大学大学院都市情報学研究科 保健医療情報学 主任教授） |
| 17:05 | 閉会の挨拶 大会長 加藤 憲（愛知県医師会総合政策研究機構 主任研究員） |
| 18:00 | 懇親会 |

主催：医療の安全に関する研究会

〒461-0001 名古屋市東区泉 1丁目1-35

ハiestok屋6階 センター気付

<http://www.urban.meijo-u.ac.jp/zsakai/iryou-anzen/index.htm>

TEL：052-951-3931

または <http://www.facebook.com/iryou-anzen17>

FAX：052-951-3932

会場へのアクセス

会 場： 愛知淑徳大学 星が丘キャンパス 1号館 3階 13B 教室

住 所：〒464-8671 愛知県名古屋市千種区桜が丘 23

電 話：052-781-1151（代表）

URL：<http://www.aasa.ac.jp/guidance/map.html>

公共交通機関をご利用ください。参加者の方がご利用いただける駐車場はありません。

ただし、お体が不自由等のご事情により駐車場の利用を希望される場合は、事前に医療の安全に関する研究会事務局までご相談ください。

■公共機関によるアクセス

名古屋駅より地下鉄東山線「星ヶ丘」まで 18 分。「星ヶ丘」3 番出口から徒歩 3 分。



■星が丘キャンパスマップ

